

この日は、株式会社薩摩水道の代表取締役である芹ヶ野裕史さんと、職人の方々に指導いただきながら、薩摩川内市青山町にある事務所にて塩ビ管を利用した落下防止柵を制作した。



通常こうした柵は杉板などの木材を使用するのが一般的であるようだ。塩ビ管を資材に選んだ理由を芹ヶ野さんに聞いた。「生徒さんたちに、ものづくりの楽しさを実感してほしいからですね。」

木材は工程も多くて、値段も高く、扱いが難しいです。塩ビ管なら安く手に入り、耐久性もあって、加工も容易です。ですから、きつてつなげる楽しさを感じられると思います。それに、うちは水道屋ですから、塩ビ管の扱いには慣れているので」



生徒の様子を振り返ると、始めは緊張しておそろおそろ作業していた。しかし、職人さんに教わりながら、楽しさを教えてもらえたようので、笑顔で塩ビ管を組み合わせていく。

さらに、手際のいい生徒が、軽快に作業を終えると、職人さんから「センスがいいなあ」「うちで働かないか」と声をかけてもらい、まんざらでもない様子だった。生徒たちに楽しさを教えてくれた薩摩水道の皆さんに感謝である。

つくるのは、ジブン。

# れいめい

REIMEIJIN

2023/NO. 4

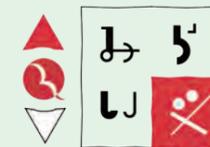


## EVENT

併願受験者向け合格者説明会  
2/4(日)

入学説明会  
3/20(水)

## SNS



=みらい図=

普通科みらい探究コース通信

## 目標に向かうと とある日の授業

この日は、薩摩川内市内に2店舗を経営している、ラーメン宝島の田畑さんに講演をしていただきました。



大学時代、様々なアルバイトでの経験を経て、卒業後現在のラーメン宝島(田畑さんの父親が創業者。創業者は本校のOB)で働き始めた田畑さん。



▲ラーメンの実演販売

仕事も軌道に乗り、「物産展に出店する」という目標を設定し、それを達成するためにどうしたらお客様に選んでもらえるかをいろいろな角度から考えた経験などを聞き、がむしゃらに頑張ることの大切さを教えてもらいました。物産展出店はまだ叶っていませんが、東京での恵比寿三越の出店や、コンビニでのラーメン販売を拡大するなど違った形で結果に繋がったことなのです。

講演の最後には、実際にチャルメラ号で実演販売してもらい、生徒達にとっても至福の時間となりました。

みらい探究コースでは、これまで、金融、自衛隊、消防士、理学療法士、スポーツトレーナー、認定こども園、女性起業家、大学教授、一級建築士、スポーツブランド経営者、通信関係、専門学校、栄養士、美容師など数多くの職種の方や経営者の方に講演をしていただきました。生徒達にとつて進路選択の一助になるように、これからも色々な職種の方からの学びの場を作っていきたいと思っています。



▲スポーツトレーナーの実技指導



▲スポーツサイエンスでのゲーム分析指導

# キャリアアップコース通信

キャリアアップコースには、現役公務員合格を目指す「公務員専攻」があります。今年度も公務員合格の嬉しい報告が続々届いていますので、そのうちの2名にインタビューをします！合格までの道のりや後輩への一言など、同じクラスで頑張る姿を見てきた牧迫莉世（平成中出身）がお届けします。



鹿児島県警察合格 東條 駿翔さん（宮之城中出身）  
薩摩川内市役所合格 三木 咲由莉さん（川内南中出身）

公務員合格おめでとうございます。まずは、合格した時の気持ちを教えてください。三木）合格できるかどうか不安な期間が長かったので、まずはホッとしました。中学生の頃から目標としていた仕事に就けることが非常に嬉しいです！東條）嬉しい気持ちもありましたが、ホッとした安心の気持ちの方が大きかったです。

受験勉強中で大変だったことを教えてください。三木）公務員試験は長い間準備する必要があるため、その期間で試験に対して不安になることが何度もありました。東條）自分の苦手な科目の克服や面接練習での改善点が多くて、気分が落ち込むことがありました。



どんな公務員になりたいか教えてください。三木）自らも市民としての自覚と情熱をもって仕事に励む公務員になります！東條）たくさん経験を積んで、地域のために貢献できる公務員になります！

最後に、これから公務員を目指す後輩たちへ一言お願いします。三木）大変なこともありますが、最後まで諦めず夢を叶えてください。公務員を目指すならキャリアアップコースへぜひ！東條）自分の目標に向けて頑張ってください。



## 文通

あなたと文理科をつなぐ  
れいめい文理科通信  
合格体験記 22  
やりたいこと

九州大学農学部に入學した青崎さん。大学では、やりたいことに挑戦する毎日を通している。



九州大学 農学部 青崎 真弥さん（れいめい中出身）

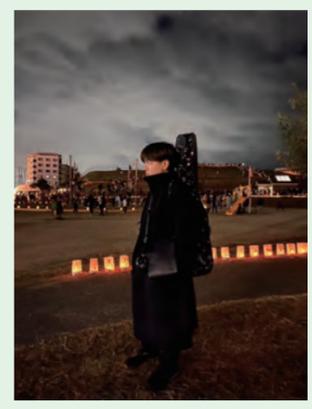
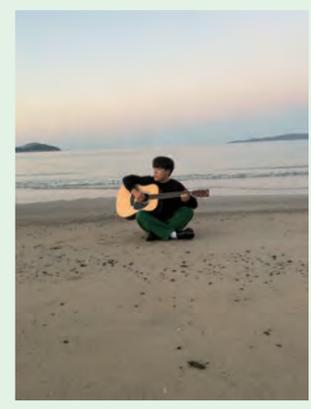
大学生活はどうですか。ほんとに楽しいです。クラスでは総代という立場で、独自のテスト対策テキスト作りや、クラコン（クラスコンパ）の開催をしていて、アルバイトはバーテンダーをやっています。サークルは4つ入っていてダンスと弾き語りと農業とボランティア活動を行っています。まだまだほかにも書ききれないくらい色々なことをやっています。九大はやりたいと思ったことをなんでも実現できる環境や設備がそろっていて、たくさんの方に挑戦できています。



▲大学祭の様子（写真左）

れいめいでの思い出を教えてください。やはり、受験です。僕はそれまでの人生で、何かに対して真剣に取り組んだことがなく、受験が初めて全身全霊をかけて臨んだイベントでした。結果は振るいませんでしたが周りとの絆を再確認でき、自分の成長にもつながるいい機会でした。

受験でのモチベーションを持続させる秘訣は何ですか。目標の具体化が秘訣だと思います。〇〇大学に入りたいたい... だけでなくそこで何がしたいのか、それは大学入学後いつするのかなどを具体的に決めることで、目標の大学への進学を遠いものとしてではなく、より現実的で自分に近いものとして考えるようにしていました。また一番大切なのは、恋愛だと思います。好きな子に応援されたら頑張れるでしょ！！



後輩へのアドバイス。行きたい大学にいれば本当に最高だし、何でもできる自信がきます。みなさんは大学に入ってから色々なチャレンジをする機会に巡り合います。そんな時自信をもって何でも臨めるように、受験を通して自分の努力を現実の結果として示し、揺るがない自信を手に入れてください。九大で待っています！



▲高校時代の青崎さん

## ワレワレもれいめい人

—れいめい教職員コラム—

教職員達が、毎号交替で書いていくリレーコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々である。



文理科 迫田 翔一（鹿屋中出身）  
教科：英語  
好物：穂先メンマ  
特技：ギター

『未来の答えは』  
2023年は世の中もそうだが、れいめいにとっても激動の一年だったのではないかと。今年の流行語には「ARE」、「生成AI」、「ひき肉です」などが挙がる。「ひき肉です」は中学生 YouTuber 「ちょんまげ小僧」が流行らせた言葉らしい。ごく一般の中学生が一本の動画で一躍有名人になるとは時代も変わったものである。  
本校でも中学校で国際バカロレア（IB）の試行授業が始まり、私自身、経験がない授業に日々試行錯誤している。毎日のように新しいことに触れ、大いに学んだ一年であった。授業を受けてくれた中学生も同じだったであろう。  
昨今、どこの世界を切り取っても新しいものに触れる機会は増えている。知らないものを知ることにはそれ即ち学びである。そしてそういった機会は今後ますます増えていく。  
生徒の皆さんが社会に出て働く頃にはどんな世の中になっているのだろうか。それを今は誰も知らない。学校の先生たちも教えることはできない。結局は自分自身で世の中を知り、学んでいくしかないのである。まさに手本のない多様化の時代がそこにある。

